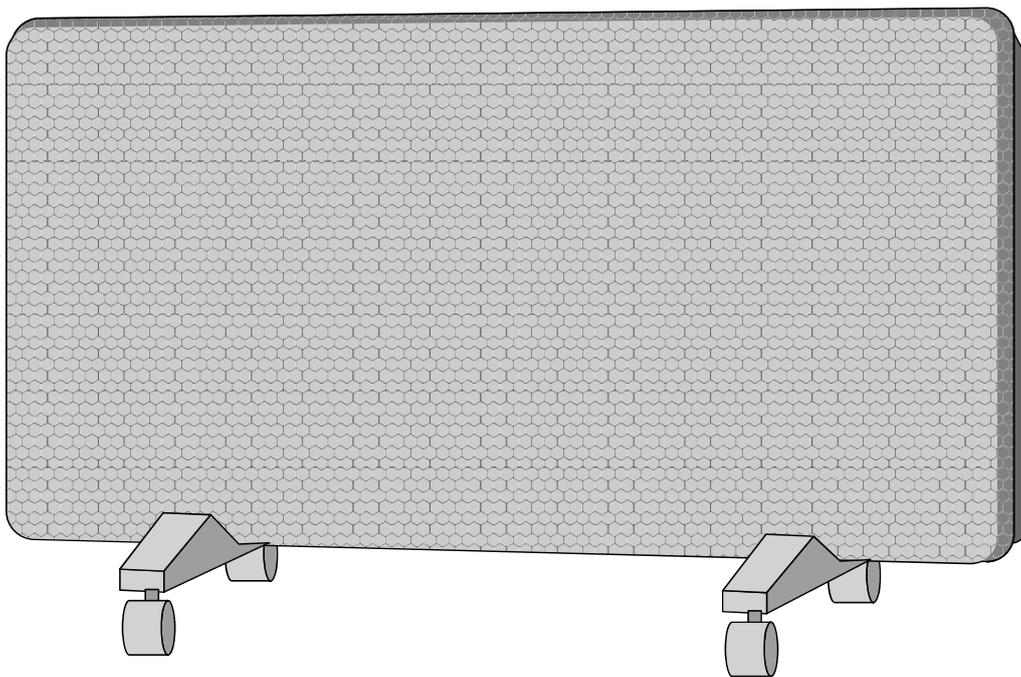


取扱説明書

フォトン950W



Made in France

ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

もくじ

- 安全上のご注意 1
- 各部の名前 3
- キャスターの取付け方 4
- 設置の方法 5
- 運転のしかた 7
- 安全装置つき電源プラグについて 10
- お手入れのしかた、保管のしかた、電源コードの点検 11
- 故障診断 12
- アフターサービス、仕様 13
- 保証書 14

安全上のご注意

■この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項（図記号等による表示）を必ずお守りください。

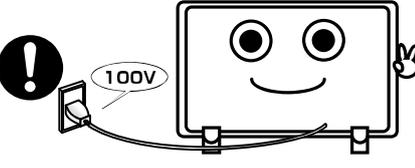
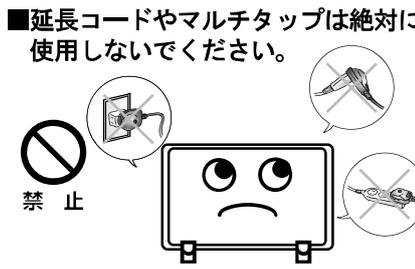
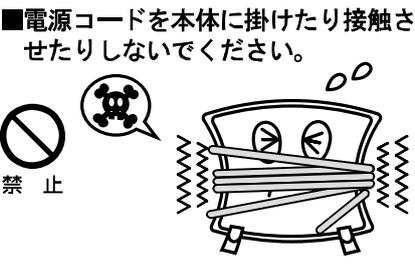
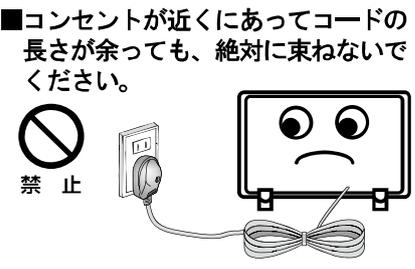
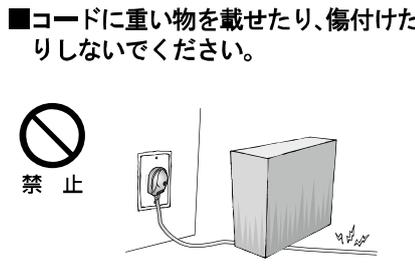
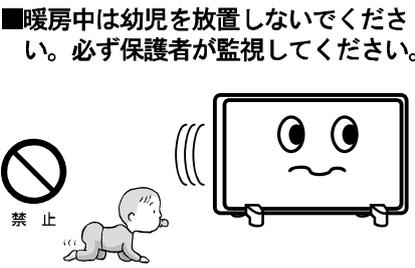
■注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分しています。

 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

 の記号は注意(警告を含む)を促す内容を示しています。(右の図は高温注意)  高温注意	 の記号はしてはいけない内容を示しています。(右の図は分解禁止)  分解禁止	 の記号はしなければならない(強制)内容を示しています。(右の図は電源プラグからコンセントを抜く)  電源プラグをコンセントから抜く
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【 警告 】

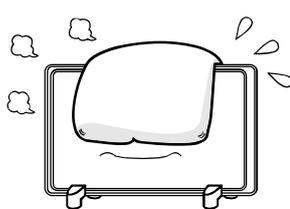
<p>■電源は、100Vの壁のコンセントに電源プラグを直接に差込んでください。</p>  <p>200Vに接続すると、発火のおそれがあります。</p>	<p>■電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。</p>  <p>過熱により発火するおそれがあります。</p>	<p>■本体の上・前後・左右に十分な空間を設けて設置してください。特に、カーテン・コンセント・壁・家具・家電製品等にはご注意ください。</p>  <p>火災・変形・変色・故障等の原因となります。</p>
<p>■延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。</p>  <p>コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。</p>	<p>■電源コードを本体に掛けたり接触させたりしないでください。</p>  <p>熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。</p>	<p>■コンセントが近くにあるコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。</p>  <p>コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。</p>
<p>■コードに重い物を載せたり、傷付けたりしないでください。</p>  <p>発火の原因となります。</p>	<p>■暖房中は幼児を放置しないでください。必ず保護者が監視してください。</p>  <p>高温のパネル等に触らせないように配慮願います。</p>	<p>■押入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。</p>  <p>故障や熱変形等の原因となります。</p>

■コンセントのすぐ下では使用しないでください。



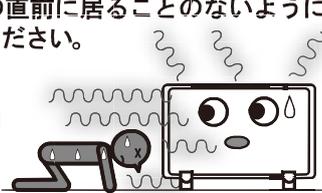
熱で電源コードを傷め、火災の原因となります。

■布団や洗濯物などを掛けないでください。



過熱により火災につながる恐れがあります。

■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。



熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。幼児や泥酔された方には特に注意してください。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。

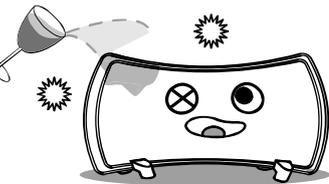


歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因になります。

■水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。

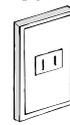


水ぬれ禁止



水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■シーズンオフや長時間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。



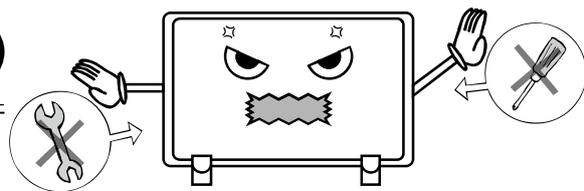
Cleaning

トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間が汚れ、湿気などによりショートすることです。

■修理技術者以外の方は、分解・修理を行なわないでください。

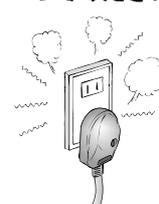


分解禁止



誤った修理を行なうと、発火や感電のおそれがあります。本体に密閉されているオイルが漏れ出す恐れがあります。

■次のような場合には直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理の依頼等を行なってください。



コードやプラグが熱い。



コードを動かすと電源が切れる。(または、電源が入る。)

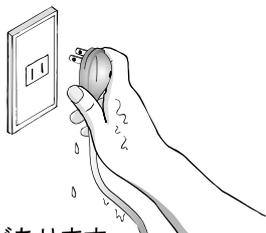
使用し続けると発火のおそれがあります。

【 ！ 注 意 】

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行なわないでください。



ぬれ手禁止

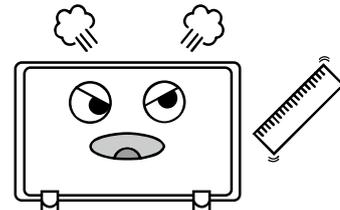


感電のおそれがあります。

■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。

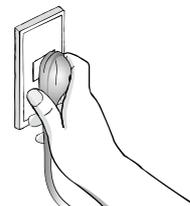


禁止



感電や故障の原因となります。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。

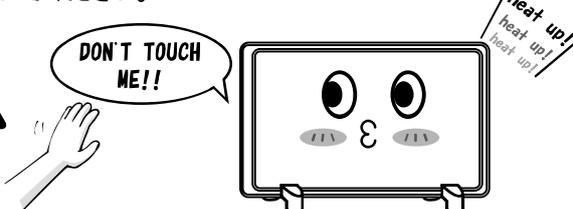


コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

■パネルなど本体の外装は高温になります。使用中には手で触れないでください。

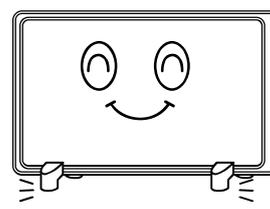


高温注意



幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

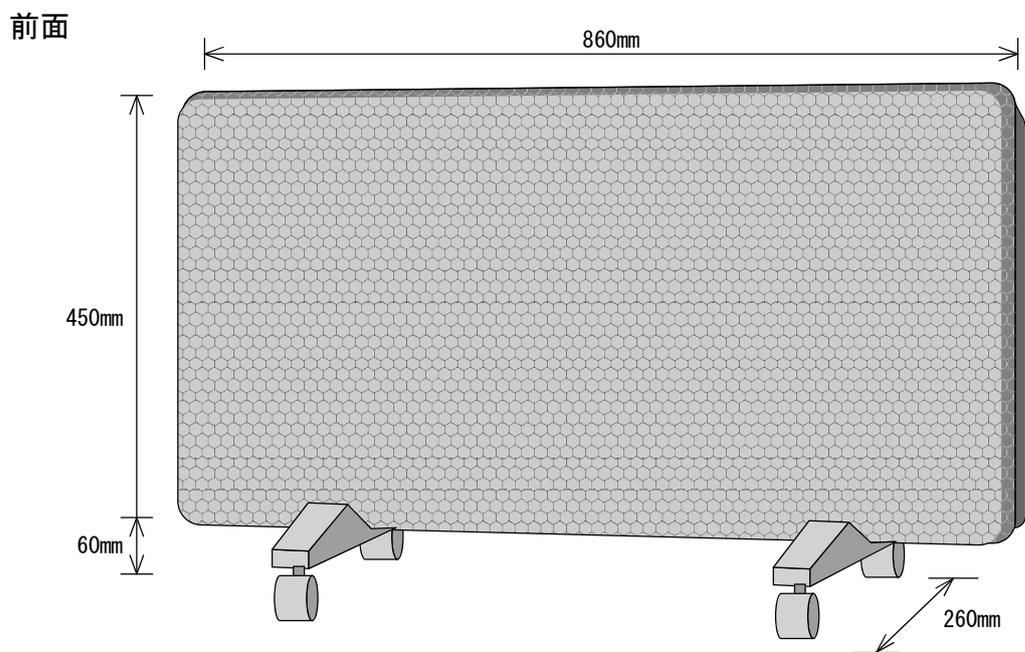
■据付は、水平で平らな場所に台脚を使って正しく置いてください。



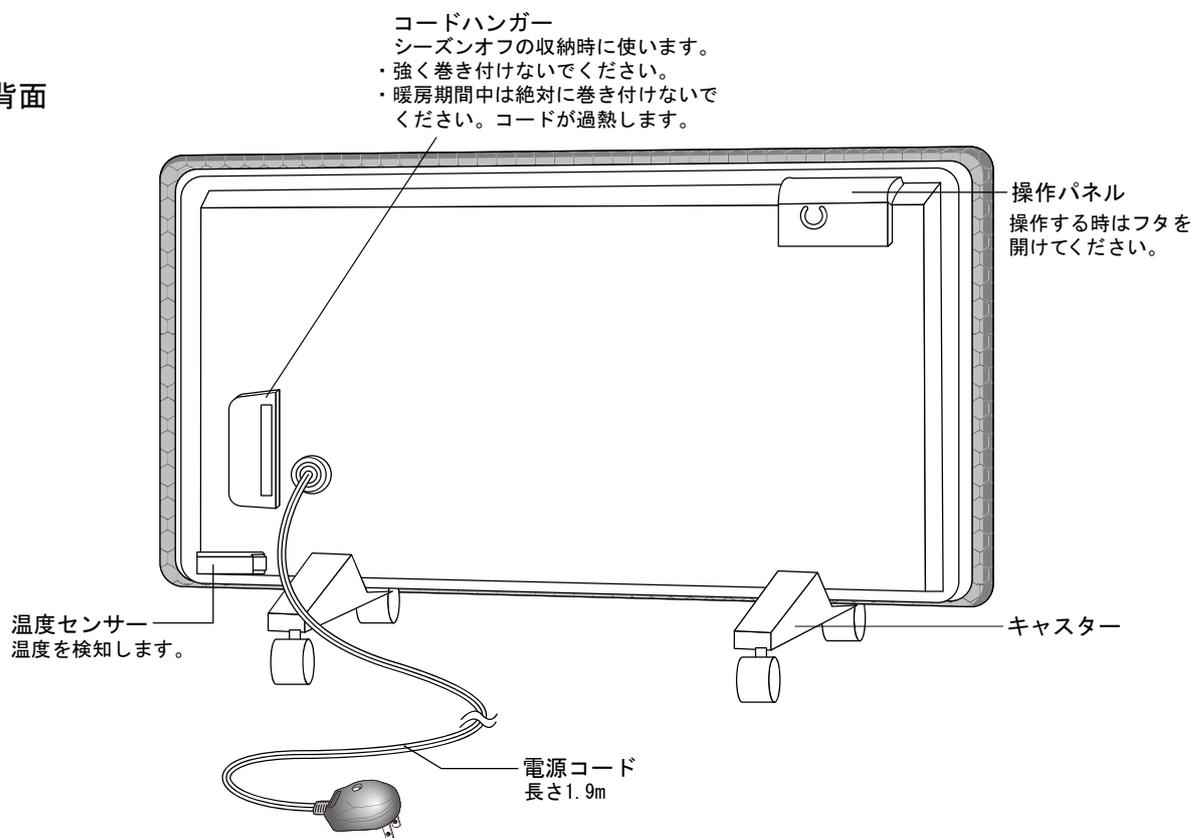
倒れるとケガをするおそれがあります。倒れたままでのご使用は、火災の原因となります。

各部の名前

【外観】



背面



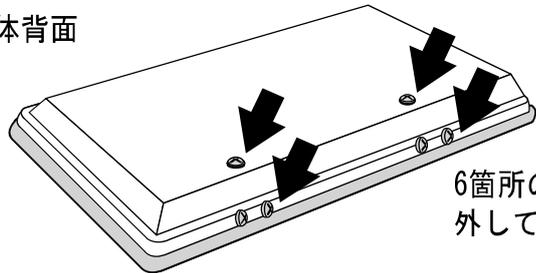
キャスターの取付け方

- キャスター取付け用のネジが本体に取付けてあります。

はじめに
本体からネジを
外してください。

はじめに左右合計6箇所のネジをはずして下さい。
はずしたネジを使用してキャスターの取付けをします。

本体背面



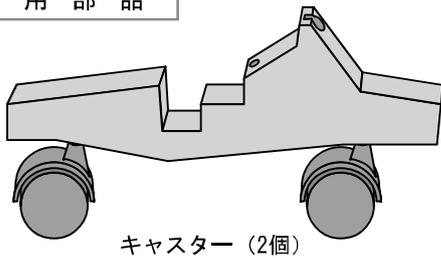
6箇所のネジを
外してください。

⚠ 注意

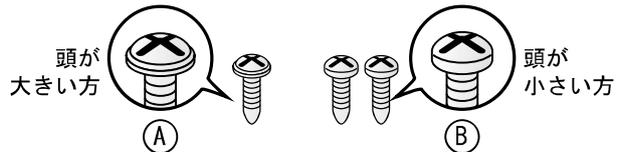
本体からねじを外す際は、適切なサイズ (JISB4633で規定される2番) のドライバーをご使用ください。
「ねじが外れない」「ねじ頭の十字溝がつぶれる」等のおそれがあります。

取付け

使用部品



キャスター (2個)



ネジ 2種類 (合計6個)

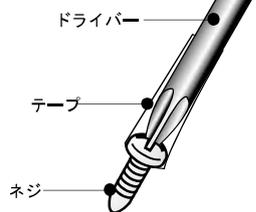
取付け方法

下図を参考に①と②のネジで台脚を本体に固定します。
ネジは2種類あるので、ご確認のうえ正しくご使用ください。
※もう一方も同じ手順で取付けてください。

取付けワンポイント

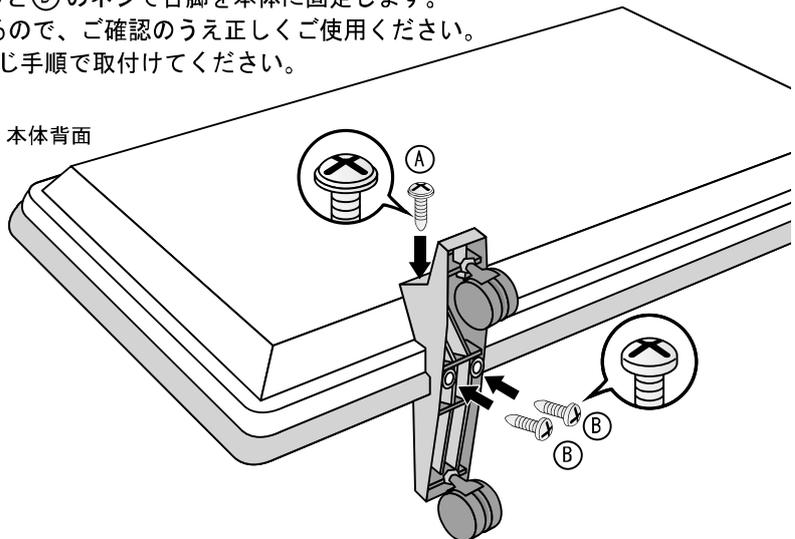
テープを使って、ネジとドライバーを軽く固定すると、ビスを落とさずにラクに取付けができます。

テープは1周巻く程度です。



注意: ネジの下部までテープが覆ってしまうとネジが最後まで締められません。

本体背面



設置の方法

設置

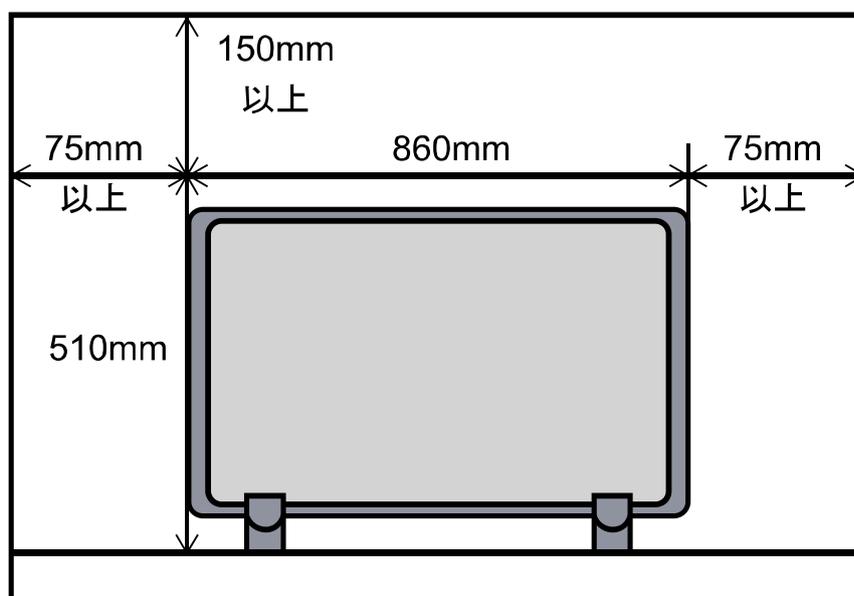
平らで安定した場所に設置してください。

上方及び左右には十分なスペースを設けてください。

棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。

前面には大きなスペースを設けてください。

遠赤外線輻射効果が上がります。

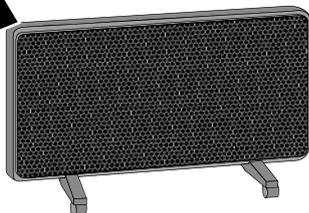


背面のスペースは 75mm以上
前面のスペースは750mm以上

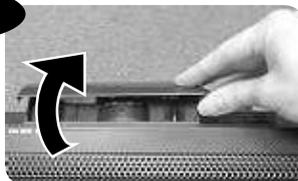
運転のしかた

【操作パネル】

操作パネルは本体左上部にあります。



開け方



フタを手前から奥へ向かって、開けてください。



操作パネルのフタが開きます。

■ご家庭での通常使用において、主に使用する温度設定モードは『☀️ 快適』と『🌙 節約』です。

🕒 プログラム

公共の場所等、多数の人が触れるような場所でのご使用時に、温度設定ダイヤルを強制固定できます。一般の住宅ではこのモードは使いません。

☀️ 快適

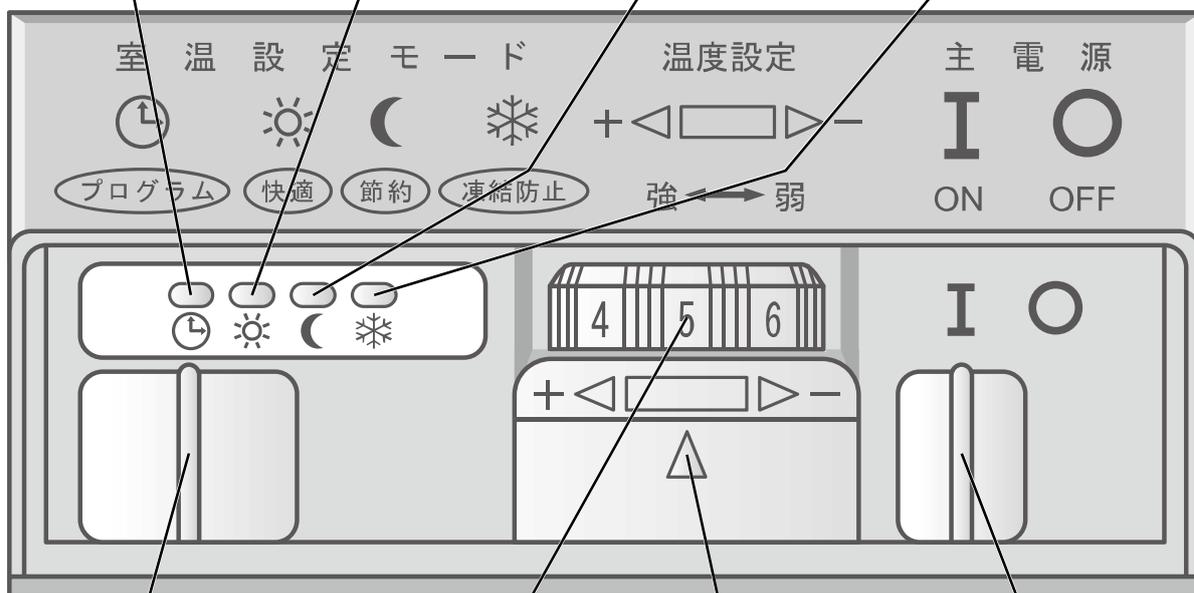
通常はこのモードで使用します。

🌙 節約

就寝時などに室温を下げたいとき、お部屋を一時的に使わない時には、室温設定モード“節約”に合わせると、設定温度が現在の温度より4℃下がります。

❄️ 凍結防止

寒冷地での使用、長期間部屋をお使いにならない場合に水回りの凍結防止、窓の結露防止を致します。設定温度は約5℃になります。



室温設定モードスイッチ
室温設定モードを選択します。

温度設定ダイヤル
温度調節に使用します。
強（大数）→ 高温
弱（小数）→ 低温

運転ランプ
ヒーターに通電されているときに点灯します。

主電源スイッチ
“I”に合わせると、運転。
“O”に合わせると、停止。

運転のしかた

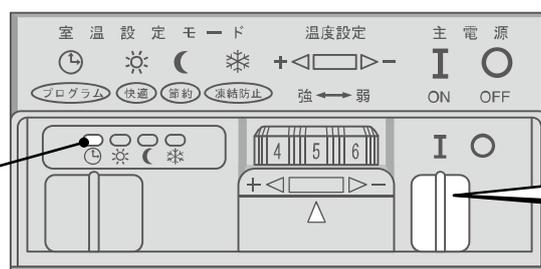
【快適】

■ 通常はこのモードで使用します。

1 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

2 主電源スイッチを“ I ”に合わせてください。

通電されると、室温設定モードのツマミがセットしてある箇所の赤ランプが点灯します。
※図の場合は室温設定モードの“プログラム”のランプが点灯しています。

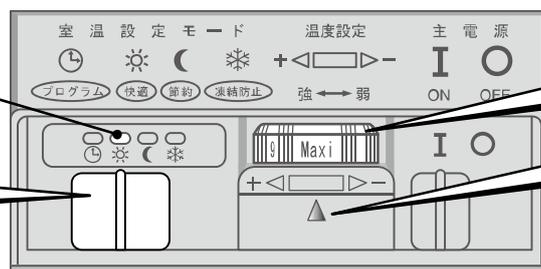


主電源スイッチ

3 室温設定モードスイッチを“ 快適 ”に合わせてください。

4 温度設定ダイヤルをお好みの温度に合わせて調整してください。
ダイヤルを左に回すと、高い温度設定になります。
ダイヤルを右に回すと、低い温度設定になります。

“快適”の赤ランプが点灯したことを確認してください。



温度設定ダイヤル

運転ランプ

ご注意 ■ すき間風が入る場所や非常に寒い部屋、ドアを開けた状況の部屋、適用畳数以上の部屋の場合、快適な温度になるまでに時間がかかります。また、快適な温度に到達することができない場合があります。

運転のしかた

【節約】

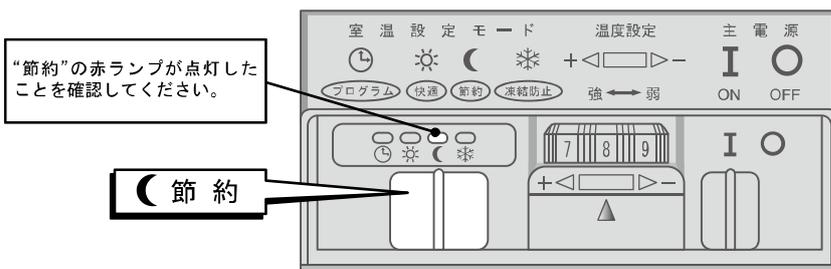
こんな時に

- 就寝時に室温を下げたいとき
- 一時的にお部屋を使わないとき



室温設定モードスイッチを“**節約**”に合わせてください。

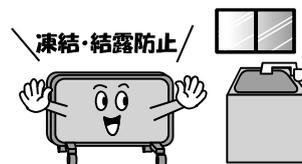
“**快適**”モードにて使用している温度より約4℃低い温度に設定が変わります。



【凍結防止】

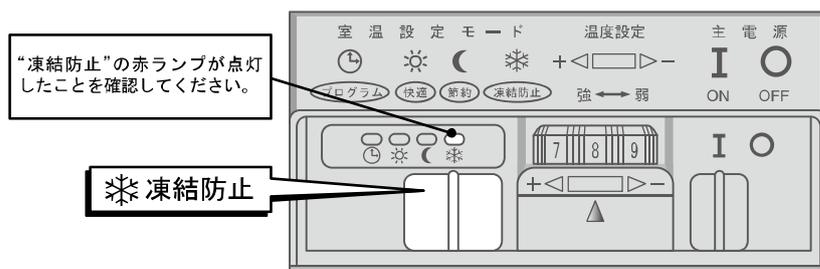
こんな時に

- 寒冷地で使用の場合
- 別荘のオフシーズン（無人でのご使用はおやめください。）



温度設定モードスイッチを“**凍結防止**”に合わせてください。

室内温度を5℃程度に調節し、水回りなど室内の凍結を防ぎます。



運転のしかた

【プログラム】

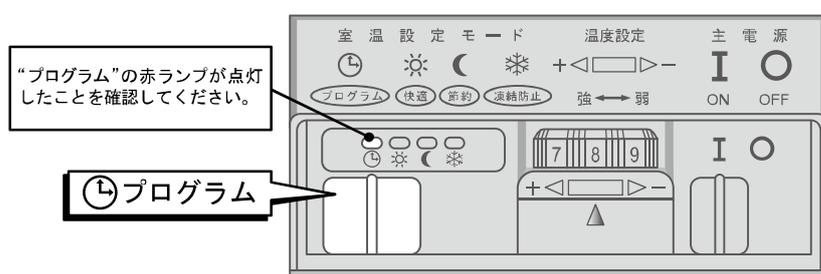
こんな時に

■ 公共の部屋など、多人数が触れる場所では、いたずら防止等のために温度設定ダイヤルを強制固定することができます。

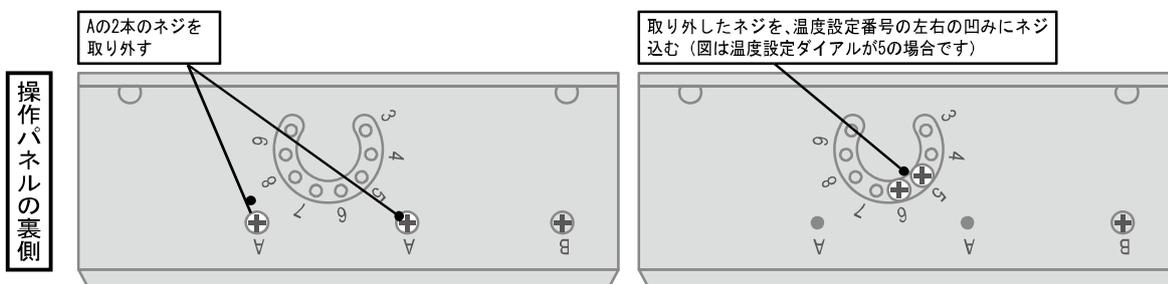
■ ホテル・官庁・病院・学校等、人の往来が多い場所でのご使用時に便利です。

1 7ページの”☀️ 快適” の設定をしてください。(設定済みの場合はそのまま)

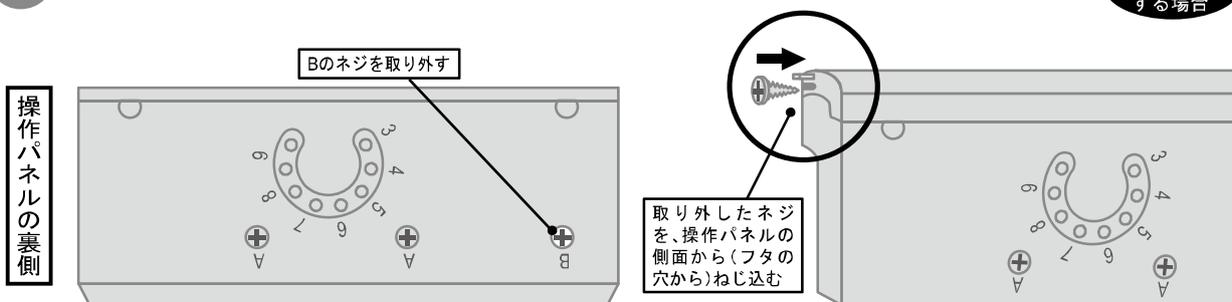
2 室温設定モードスイッチを “🕒 プログラム” に合わせてください。



3 操作パネルの裏側のネジAで図のように固定します。



4 フタの固定をする場合は、操作パネルの裏側のネジBで図のように固定します。 **フタを固定する場合**



安全装置付き電源プラグについて

- この製品の電源プラグには、安全装置が内蔵されています。

【安全装置の仕組み】

ヒーター稼動中に、電源プラグが過熱すると、電源プラグに内蔵された安全装置が熱を感知し、電源を自動的に切ります。

こんなときに、
過熱します

- 電源プラグのコンセントへの差し込みが不十分
- 電源プラグの差し刃の変形
- 電源プラグ内コードの芯線の部分断線
- 電源コンセントの劣化（緩み、腐食等）

【安全装置が働いた場合】

1 安全装置のリセット方法

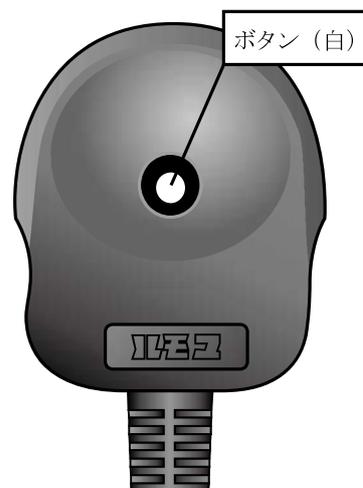
電源プラグが冷えてから、背面の真ん中にある白いボタンをボールペンなど細いもので、「カチッ」という感触があるまで押し、リセットしてください。
*冷える前に押ししても、ボタンが戻ってしまいリセットされません。

2 リセットしても再び安全装置が作動する場合

コンセントまたは電源プラグの劣化や故障です。他のコンセント等を使用して動作をご確認のうえ交換・修理をしてください。
コンセントはお近くの電気工事店に、電源プラグは弊社に依頼してください。
*リセットを繰り返しながらのご使用は危険です。お早めに点検・修理を行ってください。

3 電源スイッチを入れても通電しない場合

輸送時の温度変化、振動で安全装置が作動することがあります。上記と同様に、リセットしてください。



▲安全装置付き電源プラグ
(背面)

【電源プラグの抜き差し】

プラグの抜き差しは、プラグ本体を持ち水平に出し入れしてください。コードを引き抜いたり、斜めに抜くとプラグやコンセントが破損したり、故障の原因になります。

お手入れのしかた

- 1 電源プラグをコンセントから抜き、各部が十分に冷えてから行なってください。
- 2 前面のホコリはブラシの付いた掃除機で吸い取ってください。
- 3 柔らかな布に水を含ませ、固く絞ってから拭いてください。
- 4 汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。
- 5 クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。
- 6 内部には絶対に水がつかないように注意してください。
- 7 シーズンの初めに、キャスター取付ネジの緩みがないことを確認してください。

保管のしかた

- 1 ポリ袋や布などでホコリを防いでください。
- 2 ホコリの少ない、乾燥した場所で保管してください。

電源コードの点検

- 1 時々ご使用中に電源コードの安全点検を行ってください。
- 2 下記の症状の場合には使用を中止してください。
発火の恐れがあります。
 - ①電源コードが熱い。
 - ②電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする。
- 3 修理は必ず販売店または当社へ依頼してください。
誤った修理は火災につながります。

故障診断

症状	原因	処置
主電源スイッチを入れても室温設定モードのランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントから外れている。	しっかりと差し込んでください。
	電気のブレーカーが落ちている	原因を調べてから復旧させてください。
	コンセントの故障でないことを、他の電気機器を接続して確認する。輸送中に安全装置が働く可能性があります。	電気工事店に修理を依頼してください。白いリセットボタンを押してください。→詳しくはP10を参照してください。
部屋の暖まり方が不十分	「節約」または「凍結防止」になっている。	運転モードを「快適」にセットしてください。
	温度設定ダイヤルが「弱」側にセットされている。	「強」側に回してください。
	本体を大きな窓ガラスに向けて使用している。	窓側に背を向けて使用してください。窓に厚いカーテンを引いてください。
	本体の近くの棚・机・ソファ・カーテン等により、熱の輻射・対流が妨げられている。	設置場所の変更や障害物の移動を行なってしてください。
	スキマ風がある。 ドアや窓が開いている。	部屋のスキマ等を改善してください。ドアや窓を閉めてください。
	部屋が大きすぎる。	他の暖房機を併用してください。厚手の長尺カーテンを使用してください。
電源プラグが熱い	①電源プラグの異常 ⇒ 使用中止	①販売店または当社へ修理依頼してください。
	②コンセントの異常 ⇒ 使用中止	②電気工事店へ修理依頼してください。
電源コードが熱い。 コードを動かすと電源が入切する。	電源コードの半断線 ⇒ 使用中止	販売店または当社へ修理依頼してください。
ブレーカーが働く	同一回路への接続機器の合計電流を確認する。	接続機器をブレーカーの容量以下に減らしてください。
蛍光灯がちらつく	電源電圧が低い。 契約容量を超えた電気を使用している。	電力会社へ相談してください。 接続機器を減らしてください。
異臭	シーズン始めにはホコリが臭うことがある。	換気を行なってください。 数日経っても解消しない場合は当社へ連絡してください。
異音	①電源を入れた後および切った後にピシッと音がする。	故障ではありません。 ①部材の膨張・収縮音
	②稼働中にカチッと音がする。	②サーモスタットの作動音

アフターサービス

- 1 使用中に異常が生じた場合には、故障診断に従って調べていただき、なお異常があるときは電源プラグを抜いてお買上の販売店または当社へご相談ください。
- 2 保証期間内の修理については、保証書に基き無料で行ないます。
- 3 保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
- 4 この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 5 販売店または当社へご相談される場合には、あらかじめ下記の内容をご準備の上ご連絡ください。
 - ① 品名、品番
 - ② 症状
 - ③ お買上年月日（保証書に記入）
 - ④ お客様名、ご住所、電話番号

お客様相談窓口〈受付時間：平日 9時～17時〉



TEL 0120-583-570 FAX 011-783-7747

株式会社ディンプレックス・ジャパン

〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目2番23号 **ホームページ** <http://www.dimplex.jp/>

仕様

品名	遠赤外線ヒーター フォトン950W
品番	XC910-2-1
電源	100V 50/60Hz
消費電力	950W
安全装置	転倒時電源遮断装置、過熱防止装置
電源コード長さ	1.9m
外形寸法	高さ510mm×幅860mm×奥行260mm
製品質量	8.8kg
同梱付属品	キャスター（2）・・・出荷時は紙袋入り キャスター取付ネジ（2個（頭が大）+2個（頭が小））・・・出荷時は本体にねじ込み
生産国	フランス

保証書

持込修理

品名	遠赤外線ヒーター	フォトン950W	品番	XC9100-2-1
保証期間	*お買上日 年 月 日から3年間(本体)			
お客様名				様
ご住所 〒			電話番号 ()	-
*販売店	住所			
	店名			印
	電話番号 ()			-

販売店様へお願い：*印欄にご記入、捺印のうえ、お客様へお渡しください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。

上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたしますので販売店または当社へお申し出ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には無料修理はなりません。

イ. 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。

ロ. お買上日の取付場所の移動、落下、輸送等による故障および損傷。

ハ. 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。

一般家庭以外(例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。

本書に提示がない場合。

ヘ. 本書にお買上日、お客様名、販売店の記入捺印の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

2. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって当社および他の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、販売店または当社にお問合せください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

株式会社 ディンプレックス・ジャパン

〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目2-23
電話番号:011-783-7989

※商品に関するお問い合わせ、又は修理のご相談は取扱説明書（13ページ）
のお客様相談窓口までお問い合わせください。